

## 取締役・監査役の指名、役付取締役の選定及び役付執行役員選任の理由

当社の個々の取締役・監査役の指名、役付取締役の選定及び役付執行役員選任の理由は以下のとおりです。

なお、当社の取締役・監査役候補者及び経営陣幹部の指名・選任方針についてはコーポレート・ガバナンス報告書をご参照ください。

役職	氏名	理由
取締役会長	竹内 章	<p>これまで主に総務・人事関係の部署に在籍し、総務部門長や法務部門長を歴任。2009年の常務取締役就任後は、広報・総務・環境・人事・安全衛生・関連事業関係等の担当役員を経て、2015年4月に取締役社長に就任。</p> <p>当社グループ体制の中核となる数多くの海外事業展開や国内事業再編等を推進し、事業基盤の強化を図ってきた実績を有するとともに、当社事業・業務に関する豊富な知識・経験と会社経営に関する見識を有しており、重要な社業を統括する取締役会長として適任である。</p>
取締役社長	小野 直樹	<p>これまで主にセメント事業関係の部署に在籍し、東谷鉦山長や米国三菱セメント社の副会長等を歴任。2014年6月の常務取締役就任を経て、2016年4月に取締役副社長、同年6月に取締役副社長執行役員に就任。</p> <p>セメント事業カンパニー プレジデントとして生コンクリート事業との垂直統合を機軸に米国セメント事業を拡大し、2017年4月以降は経営戦略本部長として中期経営戦略に基づく諸施策を推進する等の実績を有するとともに、経営会議メンバーとして当社経営全般に携わる等、海外を含めた当社事業・業務に関する豊富な知識・経験を有している。</p> <p>また、高度なバランス感覚を有し、公平・誠実な人柄と高い品格を有しており、当社全般の業務を統理する取締役社長として適任である。</p>

役職	氏名	理由
取締役 副社長執行役員	飯田 修	<p>これまで主に金属事業関係の部署に在籍し、銅事業カンパニー（現金属事業カンパニー）製錬部長や直島製錬所長等を歴任。2013年6月の常務取締役就任を経て、2016年4月に取締役副社長、同年6月に取締役 副社長執行役員に就任。</p> <p>金属事業カンパニー プレジデントとしてリサイクル関連の収益基盤を確立し、2017年4月以降は技術統括本部長として「ものづくり」の改善・革新を推進するなどの実績を有するとともに、経営会議メンバーとして当社経営全般に携わる等、当社事業・業務に関する豊富な知識・経験を有しており、取締役 副社長執行役員として適任である。</p>
取締役 専務執行役員	鈴木 康信	<p>これまで主に金属事業関係の部署に在籍し、銅事業カンパニー（現金属事業カンパニー）原料部長やインドネシア・カパー・スメルティング社取締役副社長等を歴任。2015年4月の常務執行役員就任を経て、2016年6月に取締役 専務執行役員に就任。</p> <p>経営戦略部門長として中期経営戦略を企画・策定し、2017年4月以降は金属事業カンパニー プレジデントとしてルバタ・エスポー社及び同社子会社2社より取得した同社グループの加工品部門とのシナジー効果を追求する等の実績を有するとともに、経営会議メンバーとして当社経営全般に携わる等、当社事業・業務に関する豊富な知識・経験を有しており、取締役 専務執行役員として適任である。</p>
取締役 常務執行役員	岸 和博	<p>これまで主にセメント生産技術関係の部署に在籍し、岩手工場長、セメント事業カンパニー生産部長、九州工場長等を歴任。2017年4月の常務執行役員就任後は、セメント事業カンパニー プレジデントとして海外事業の再編・強化を推進し、国内事業の競争力を強化するために生産効率の改善を図る等の実績を有するとともに、経営会議メンバーとして当社経営全般に携わる等、当社事業・業務に関する豊富な知識・経験を有しており、取締役常務執行役員として適任である。</p>

役職	氏名	理由
取締役 常務執行役員	柴田 周	<p>これまで主に原子力及び経営企画関係の部署に在籍し、資源・リサイクル事業本部（現環境・エネルギー事業本部）企画管理部長、同事業本部エネルギー事業部長、環境・エネルギー事業本部長を歴任。</p> <p>2017年4月の常務執行役員就任後は、総務統括本部長としてグループ全体のコミュニケーションの活性化や多様な働き方を支援する制度を整備する等の実績を有するとともに、経営会議メンバーとして当社経営全般に携わる等、当社事業・業務に関する豊富な知識・経験を有しており、取締役 常務執行役員として適任である。</p>
社外取締役	得能 摩利子	<p>国際的大手企業の日本法人における経営者としての豊富な経験から、国際企業戦略及び経営全般に関する見識を有しており、社外取締役として経営の監視や適切な助言をいただけることから、適任である。</p>
社外取締役	渡辺 博史	<p>財務省の要職及び政府系金融機関の経営者を歴任された経験から、国内外の金融・経済及び経営全般に関する見識を有しており、社外取締役として経営の監視や適切な助言をいただけることから、適任である。</p>
社外取締役	杉 光	<p>開発・設計から製造工程や品質管理に至るまで、幅広い分野における技術的な知見を有するとともに、世界各地で事業を展開するメーカーの経営者としての豊富な経験から、国際企業戦略及び経営全般に関する見識を有しており、社外取締役として経営の監視や適切な助言をいただけることから、適任である。</p>

役職	氏名	理由
監査役	久保田 博	<p>これまで主に経理・財務関係の部署に在籍し、米国三菱セメント社や東南アジア事業支援センター（現三菱マテリアル SEA 社）にも勤務。</p> <p>2011年の経営監査室長を経て、2012年に経営監査部長に就任し、内部監査におけるコンサルティング手法の導入や海外事業所に対する監査体制の確立により、総合経営監査の専門性と実効性を高めた実績を有するとともに、当社事業・業務に関する豊富な知識・経験と財務・会計に関する専門的見識を有しており、経営の監視を行う監査役として適任である。</p>
監査役	福井 総一	<p>これまで主に電子材料事業関係の部署に在籍し、三田工場長や電子材料事業カンパニー バイスプレジデント等を歴任。</p> <p>2015年4月の常務執行役員就任後は、電子材料事業カンパニープレジデント、安全衛生関係担当役員として、安全な操業体制の基盤強化、国内・海外顧客への販路拡大、経営環境の変化に対応した適時・適切な生産体制の確立に実績を有するとともに、経営会議メンバーとして当社経営全般に携わる等、当社事業・業務に関する豊富な知識・経験を有しており、経営の監視を行う監査役として適任である。</p>
社外監査役	佐藤 弘志	<p>金融機関の監査役及びメーカーの経営者としての経験により、財務・会計及び経営全般に関する見識を有しており、社外監査役として経営の監視や適切な助言をいただけることから、適任である。</p>
社外監査役	笠井 直人	<p>弁護士としての長年の経験から、法律知識に基づいた幅広い見識を有しており、社外監査役として経営の監視を適切に行っていただけることから、適任である。</p>
社外監査役	若林 辰雄	<p>金融機関の経営者としての豊富な経験から、財務・会計及び経営全般に関する見識を有しており、社外監査役として経営の監視を適切に行っていただけることから、適任である。</p>

注：監査役久保田博氏の指名理由は、2016年6月29日開催の当社第91回定時株主総会における候補者指名理由であります。

監査役福井総一、佐藤弘志の両氏指名理由は、2017年6月28日開催の当社第92回定時株主総会における候補者指名理由であります。

役職	氏名	理由
常務執行役員	キムボール・マクラウト	<p>1989年から米国三菱セメント社及びMCCデベロップメント社の取締役社長として、米国セメント・生コンクリート事業に従事。2008年6月の常務執行役員就任後は、事業環境の変化に応じて、輸入ターミナルの買収や系列生コンクリート会社の子会社化・再編などを実施し、セメント・生コンクリート事業の垂直統合を通じ事業を拡大、発展させた実績を有するとともに、当社セメント事業に関する豊富な知識・経験及び優れた国際感覚を有しており、常務執行役員として適任である。</p>
常務執行役員	中村 伸一	<p>これまで主に加工事業関係の部署に在籍し、加工事業カンパニー超硬製品事業部商品戦略部長や副事業部長等を歴任。2015年4月の執行役員就任後は、筑波製作所長として経験の幅を広げ、2017年4月以降は加工事業カンパニーバイスプレジデントとして事業全体の中期経営戦略の達成に向け、全世界で確実に施策のPDCAを廻す舵取りを行っている。また、お客様の声を数多く聴くことや対外人脈作りにも積極的に取り組み、加工事業に関する豊富な知識・経験を有しており、常務執行役員として適任である。</p>
常務執行役員	安井 義一	<p>これまで主に人事・労務関係の業務を中心に関係会社を含む国内外の拠点において、会社立上げや合理化等の困難な業務において実績を上げている。ユニバーサル製缶(株)、三菱電線工業(株)等の主要子会社での経験に加え、経営企画室での勤務経験も有し、当社グループ全体に対する知見も豊富である。2015年4月の執行役員就任後は、人事部長として労働組合と円滑な協議を行うことにより人事給与制度等の改訂を迅速に進める等の実績を有し、人事・総務を担当する常務執行役員として適任である。</p>
常務執行役員	佐々木 晋	<p>これまで主に経理・財務関係の部署に在籍し、経理室長や財務室長を歴任し、経理・財務業務に関する豊富な知識・経験を有する。</p> <p>2013年の経営戦略部門（現経営戦略本部）経営企画部長就任後は、中期経営計画及び中期経営戦略の企画・立案・調整・推進に携わり、2016年4月に執行役員に就任。2017年4月以降は経営戦略本部副本部長として、中期経営戦略に基づく諸施策を推進する等の実績を有し、常務執行役員として適任である。</p>

役職	氏名	理由
常務執行役員	酒井 哲郎	<p>これまで金属製錬関係の部署に在籍し、小名浜製錬(株)小名浜製錬所長としての在任中には東日本大震災により停止した同製錬所の操業を迅速かつ安全裡に再開させた。金属事業カンパニー製錬部長を経て2015年のインドネシア・カパー・スメルティング社取締役副社長就任後は、異なる環境や文化の中で経営面・技術面の多岐に亘る問題を解決した。2016年4月に執行役員 金属事業カンパニー バイスプレジデントに就任し、本年4月以降は同カンパニー全体の運営に携わるなど、金属事業全般に亘って豊富な知識・経験を有しており、常務執行役員として適任である。</p>

以上